



Architecture Presentasian

architect
Setsuko Itou

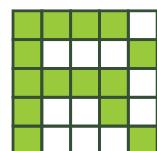
Bauhaus Project



F 憇家デザイン



建築家と建てる家を、
身近に、手軽に



R+house

※建築家住宅(建築士の資格を有する独立した建築家により基本設計された住宅)
主要供給事業者9社における2017年度～2019年度新築供給数
(株)矢野経済研究所調べ 2020年8月現在
※本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である。







担当建築家
居藤 節子

Itoh Setsuko

F 憇家デザイン@広島

住まいは家族の人生を刻む大切な空間。その空間で起こるいかなる出来事も楽しめる雰囲気や、
住んでから始まる快適な体験を、私たちならではの感性でつくります。
住もう人の人生を充実させる心配りの行き届いた家づくりを大切にしています。

Profile

- | | |
|--------|--|
| 1963 年 | 山口県岩国市生まれ |
| 1983 年 | 広島 人生経験（アパレル会社営業職、TV 局スタイリスト 撮影照明 他…） |
| 1988 年 | 設計事務所勤務 |
| 1993 年 | 設計、施工、営業経験（ナショナルリフォームセンター、三井デザインテック、他） |
| 2000 年 | 第 17 回住まいのリフォームコンクール優秀賞受賞 |
| 2012 年 | THIS ONE DESIGN OFFICE 所属 |
| 2016 年 | F 憇家デザイン設立 |

鈴（りん）と連なる家

POINT①

三角屋根が3つ連なる可愛い外観

POINT②

敷地のスペースを巧みに活用したインナーガレージ

POINT③

美しい山々を眺めるダウントンリビング

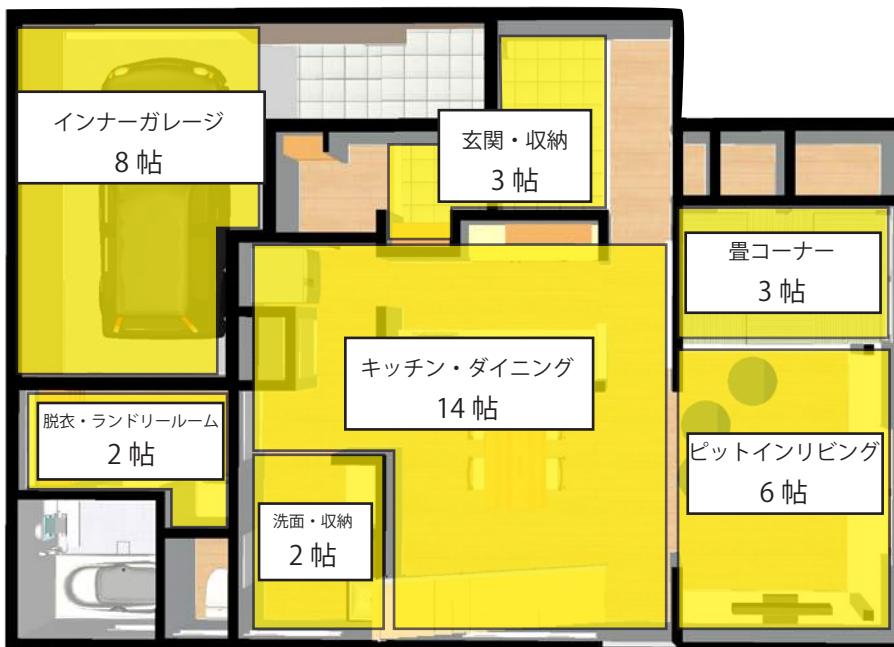
敷地面積：69.35 坪 (229.28 m²)

1階床面積：23.29 坪 (77.00 m²)

2 階床面積：11.39 坪 (37.67 m²)

延床面積：34.68 坪 (114.67 m²)

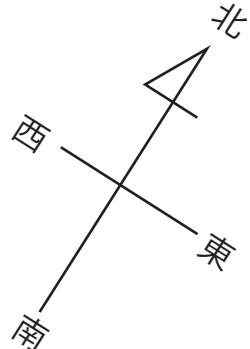
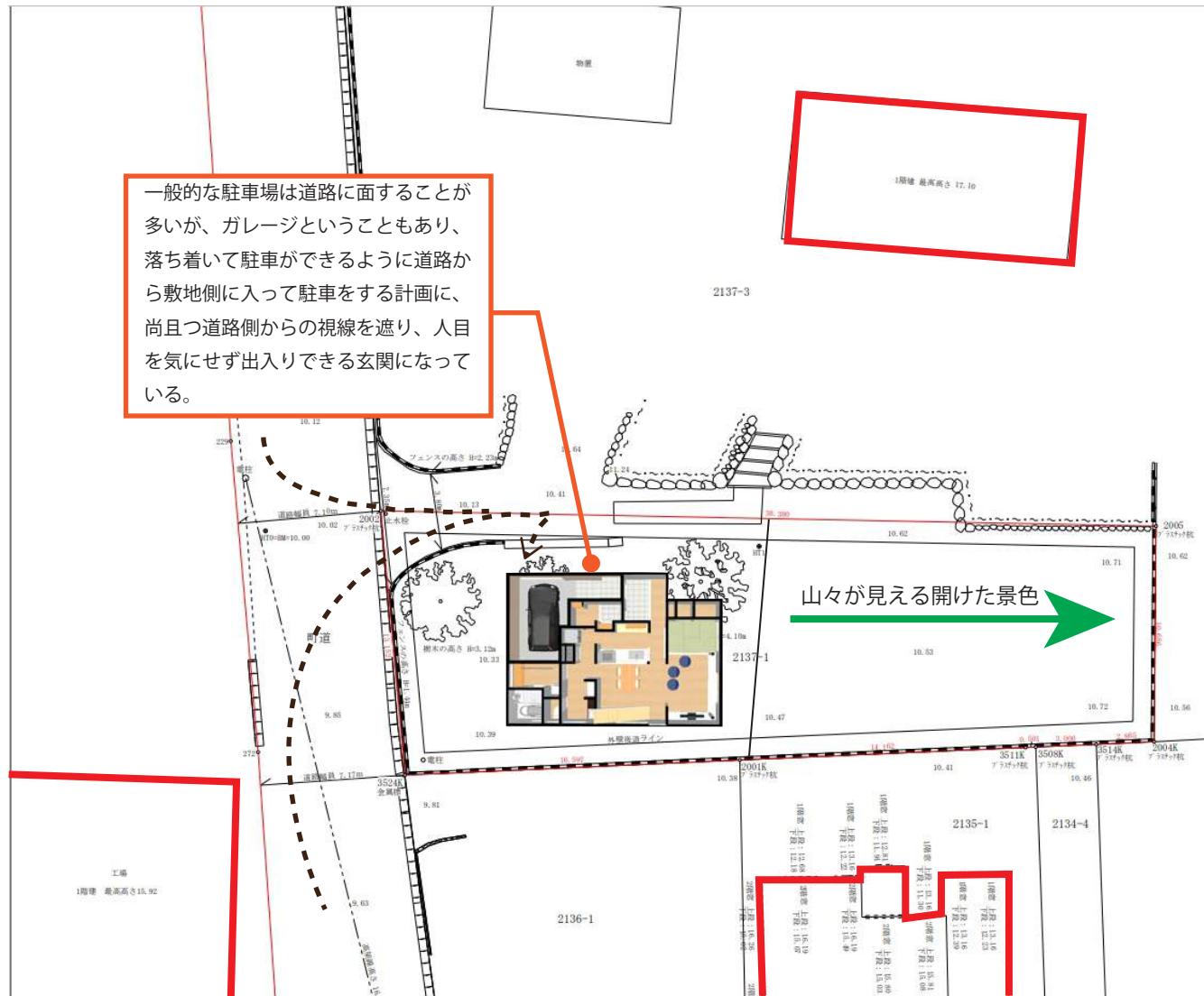
1 階



2 階



配置計画



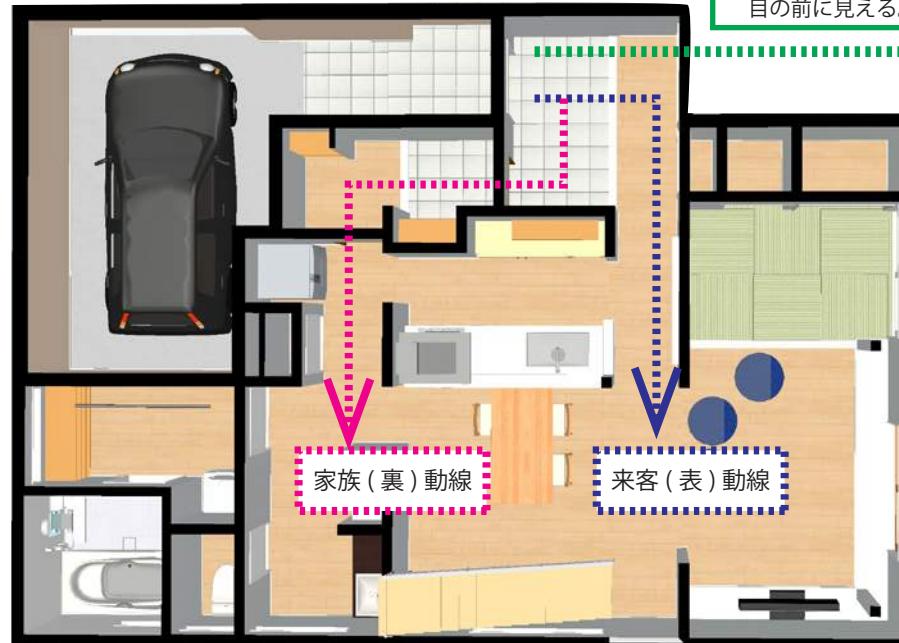
隣家の位置、玄関や窓の位置、高さ等も計測します。

そのデータをもとに建築家は現地を調査し、視線・風の抜け方・光の入り方、隣家や周辺からの見え方等を総合的に見て、その敷地に合ったベストな設計をします。

POINT

- ① 東側の開けた土地や山々を室内から眺められる建物配置
 - ② 既存の壁を必要以上に撤去せず、コストを削減し、尚且つ車の出入りもしやすいように考慮された車の動線
 - ③ 一般的な南側ではなく、将来隣家が建つ可能性を考慮して計画した東側の庭

1階



玄関から室内への動線



窮屈に感じないような玄関で、家に入るとパッと外の緑が見えるような玄関が理想です。



美しい風景を室内から見るため、東側に視線を向かせました。

一般的に道路がある西側が玄関になると思いますが、そうすると東までの距離ができるまで玄関に入った瞬間、ドーンと緑が目に入ってくる・・というのは難しくなりますので、あえて北側に玄関を配置しました。

玄関から室内へ入る動線は、シューズクローゼットなどの収納を通ってキッチン側に入る動線と、玄関からそのままリビング・ダイニングに入れる2つの動線があります。

お買い物をして収納しながらキッチンに入れば、家の中を行ったり来たりせず、無駄なく動けるのでストレスも少ないと想います。

建築家 POINT

「一般的」に囚われない設計

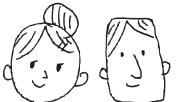
1 階



外(横)に視線が抜ける

空(上)に向かって視線が抜ける

LDK①



できれば、一段下がったリビングにしたいです。

室内から空とか、外の緑が見えたり・・明るいリビング・ダイニングが良いですね。

建築家 POINT
要望 + α の設計

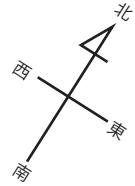
敷地的に東側を見て暮らすのが1番理想に近くなると思います。

南には隣家がありますので、あまり大きな窓をつけると、南側隣家が見えるだけで、美しい風景とは言えません。

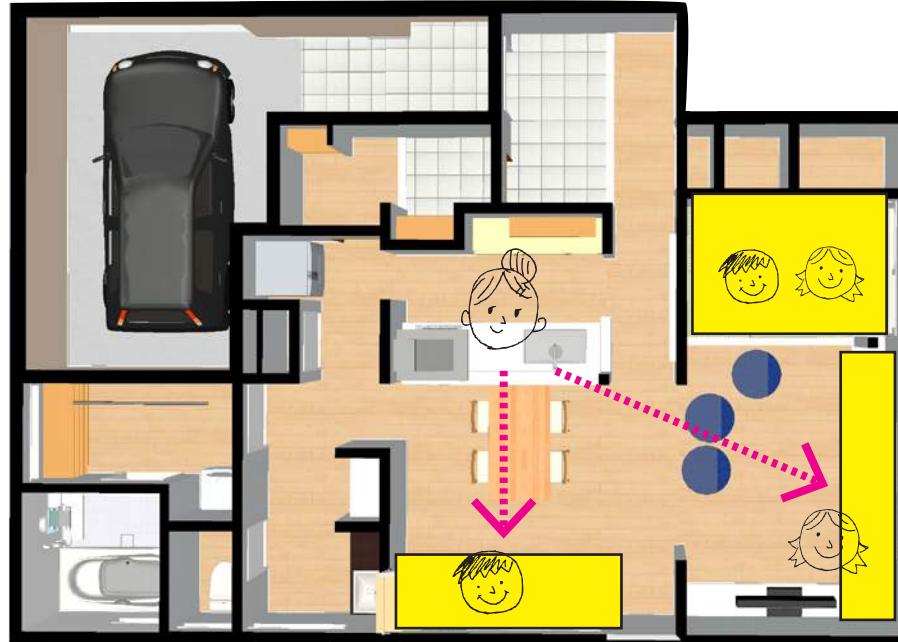
東側に大きく開いて、南側は高い位置に窓をつけます。そうすると、室内からは空が見え、外からも室内が見えにくくなります。

ダイニング上部に吹き抜けを創り、上に空間が広ることで、広く感じ、2階の南側の窓から光も十分に入ります。

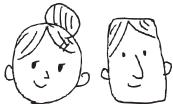
ピットインリビング（ダウンリビング）は、ベンチやTVボードとしても使いやすい高さにしています。



1階



LDK②・畳コーナー



キッチンから、子どもが見えるようにしたいです。

来客のときに、おもちゃが散乱しているようなリビングにはしたくない。

リビングやダイニングは常に綺麗な状態にしておきたいので、リビングに畳コーナーがあれば、そこで遊ばせればそんなに散らからないのかな、と思うのですが・・・。



子どもが遊ぶ場所を孤立させてしまうと、結局はパパやママが見える場所に持ってきててしまうと思うので、**孤立しすぎず、急な来客でも片付けに困らない**ような位置に畳コーナーを配置しました。

畳コーナーの他にも、階段下のカウンターや、ピットインリビングの段差を活かしたカウンターなどでも遊べるので、そのときの遊びによって場所を選んで使えば「綺麗を保てて、子どもも楽しく遊べる LDK」を叶えられると思います。

1階



キッチン・水回り



買い物したものをスムーズに収納できるキッチンだったり、家事が楽になるような水回りが良いです。

キッチンを中心に、ぐるぐると回れる回遊性のあるキッチン・ダイニングになっています。

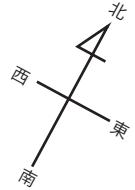
玄関からの裏動線は靴や、コート、バッグなどを収納し、買い物したモノを冷蔵庫・パントリーに収納しながらキッチン入れます。進行方向上に各収納場所があるので、収納する手間が少なくて済みます。

ランドリールームは、手を洗うときや身支度をするときに洗濯物が邪魔・・ということがないように干す場所（脱衣）と洗面を分けています。

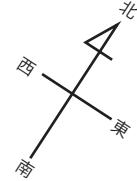
洗濯機から取り出して、そのまま干せるので移動の手間も減り、洗濯のストレスも軽減されると思います。

ご主人が帰宅時間が遅めとお聞きしましたので、スムーズに着替えができるように、洗面横に収納を造りました。お仕事から帰宅されて、パッと着替えて手を洗い、リビング・ダイニングに入ることができます。

建築家 POINT
暮らしやすさ
使いやすさの提案



2階



子ども部屋・書斎



子ども部屋はふたつ欲しいです。



本が読めたり、ゲームができる
趣味部屋が欲しいです。

建築家 POINT
可変性のある間取り



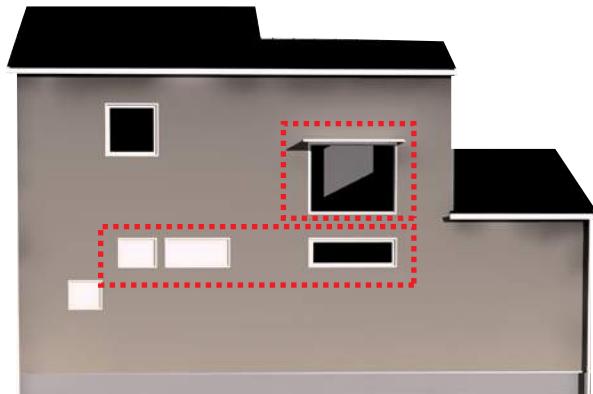
お子様が小さいうちは、子どもが一人で部屋を使うということは少ないので、お子様が遊べるプレイルームや、来客の宿泊時など、そのシーンに応じて使いやすいように、あえて仕切らない空間にしました。

個室が必要な時がくれば2つの個室としてお使いいただけますが、現状のお子様の年齢などを考慮すると、このようにオープンな間取りの方が使い勝手が良いと思います。

ご主人の書斎は、コンパクトではありますが、書斎にモノが溢れないよう、すぐ隣に収納を造っています。また、圧迫感を感じないように寝室側の上部を開けて、座った時に視線が上に抜けるようになっています。

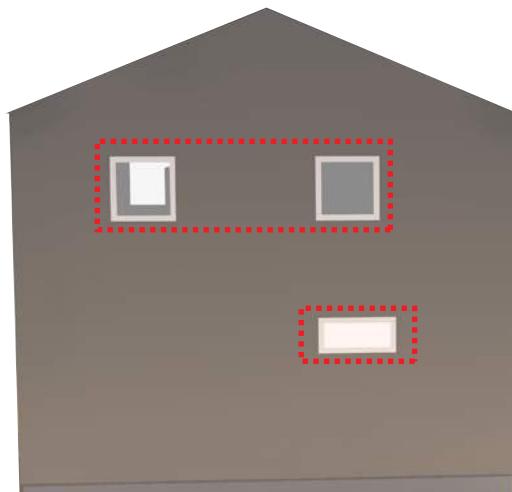
南側は隣家があり、将来近い位置に家が建つ可能性もあるため、1階の窓は上部の窓のみとし、大きな窓は配置していない。
吹き抜け部は、外からの視線は入りにくいため大きい窓を配置し、光を十分に採り入れる。

南



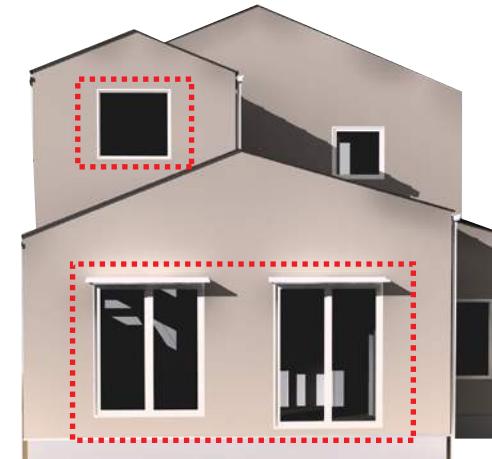
西側は道路側になるため、1階にはランドリーコーナーにあたる場所にだけ上部に窓を配置。
2階は、外からの視線と交わらない位置に窓を配置。

西



四方で一番開けている方角であり、遠くに山々が見える。
室内から外の景色を望めるように大きく開いている。
吹き抜け部の窓からは朝日がしっかりと入る。

東



北側は隣家の位置が高くなっていて、視線も入りやすいため、完全に閉じることでプライバシーを守っている。

北



上益城郡風配図

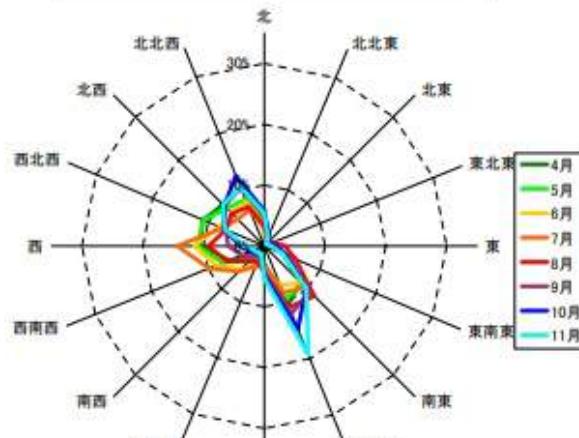


図4a 月別風配図(起居時)

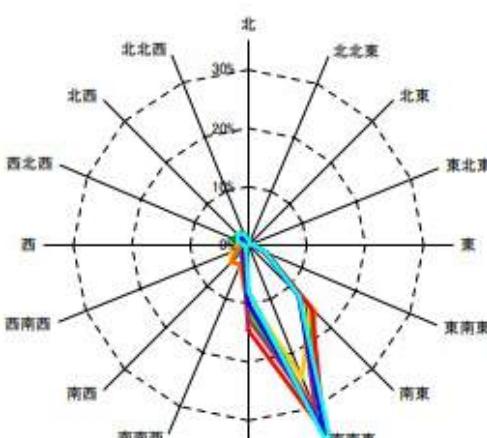


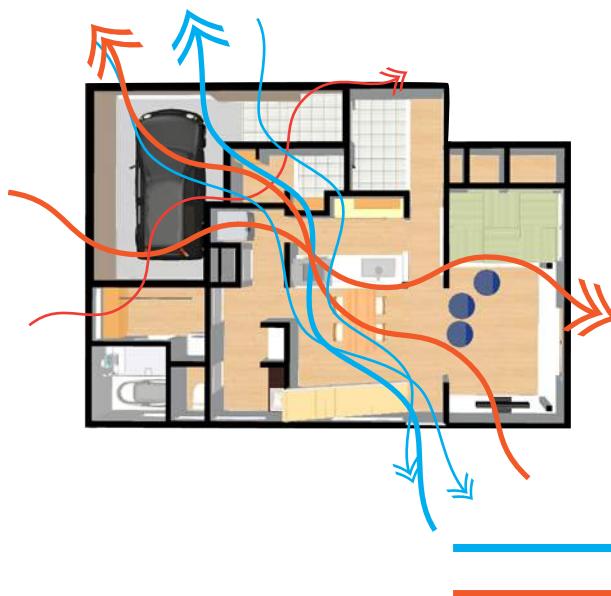
図4b 月別風配図(就寝時)

月毎気象データ数表

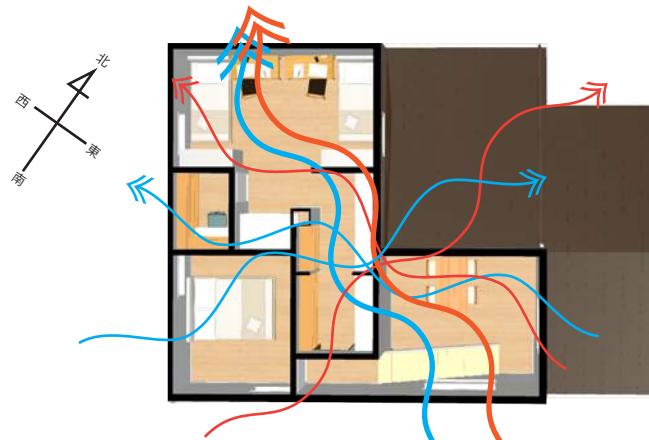
風向	4月		5月		6月		7月	
	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時
平均気温[℃]	16.4	11.3	20.8	15.4	24.1	20.0	27.7	23.5
平均相対湿度[%]	64	85	66	88	74	91	75	93
平均風速[m/s]	1.6	1.3	1.5	1.2	1.5	1.1	1.6	1.1
最頻	西北西	南南東	西	南南東	西	南南東	西北西	南南東
次点	西	南東	西北西	南東	西南西	南東	西南西	南東
次々点	南南東	南	南南東	南	南東	南	南東	南

風向	8月		9月		10月		11月	
	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時
28.4	23.7	24.8	20.5	19.4	14.8	13.8	9.8	
7.2	9.3	7.3	9.1	6.8	8.7	6.9	8.4	
1.5	1.2	1.4	1.1	1.4	1.2	1.4	1.3	
南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東	南南東
12%	35%	12%	31%	15%	34%	19%	39%	
南南東	南東	南東	南	北北西	南東	北北西	南東	
11%	15%	11%	13%	12%	12%	10%	12%	
西	南	北北西	南東	南東	南	南東	南	
9%	15%	10%	12%	10%	10%	10%	8%	

起床時の風の向きと強さ



就寝時の風の向きと強さ



…秋～冬の風の向きと強さ
…春～夏の風の向きと強さ

※周辺環境や気象状況により
変動することがございます。

風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めています。

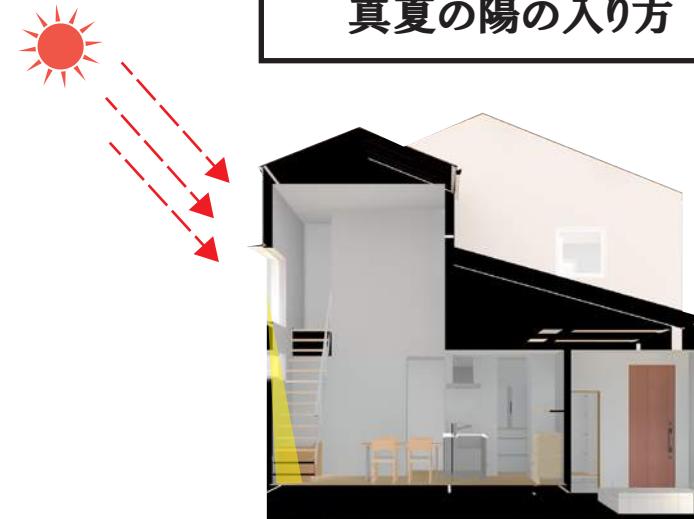
冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬の陽の入り方

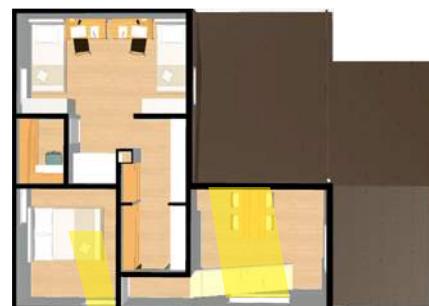


(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。

真夏の陽の入り方



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、午前中の優しい陽射しは採りこみ、午後の厳しい陽射しは避けるようにしている。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。